災害診療記録2018 外傷版（初期評価）（表）

＊項目は、☑および必要記入項目です。　　改訂日：2018/10/31

＊氏名	＊氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載	＊生年月日　性別 年齢	＊年齢不詳の場合は推定年齢 ＭＴＳＨ　　年　　月　　日　　歳	男　女

A　気道　☐気道の異常有り（☐ゴロゴロ音　☐閉塞　☐狭窄）→次ページ「A　気道の異常」項目へ

☐気道開通（正常な発語あり）→下記「B　呼吸」項目へ

B　呼吸　SpO2　　%　　呼吸数　　回/分

努力様呼吸　☐無　／　☐有　呼吸音の左右差　☐無　／　有（☐右＞左　☐右<左）

皮下気腫の有無　☐無　／　有（☐右　☐左　☐両側）　　陥没呼吸　☐無　／　☐有

➔ 異常なければC項へ、異常あれば次ページ「B・Cの異常」項目へ

C　循環　心拍数　　回/分　　血圧　　／　　mmHg

ショックの徴候　☐無　／　有（☐冷汗　☐血圧低下　☐脈の異常）

活動性出血　☐無　／　☐有

超音波（エコー）検査　☐所見なし

所見有り（☐心嚢　☐モリソン窩　☐脾周囲　☐ダグラス窩　☐右胸腔　☐左胸腔）

胸部X線写真　血胸・気胸　☐無　／　有（☐右　☐左　☐両側）

骨盤X線写真　不安定型骨盤骨折　☐無　／　☐有

➔ 異常なければD項へ、異常あれば次ページ「Cの異常」項目へ

D　中枢神経の機能障害

意識レベル（GCS）　E　　V　　M　　合計

E 4	開眼している	V 5	時・場所・人を正確に言える	M 6	命令に応じる
3	呼びかけで開眼する	4	混乱した会話	5	痛み刺激を払いのける
2	刺激で開眼する	3	不適当な単語	4	痛みに手足を引っ込める
1	何をしても開眼しない	2	無意味な発言	3	上肢の異常屈曲
		1	発声なし又は挿管中	2	四肢の異常伸展
				1	全く動かない

瞳孔径(右　　mm　左　　mm)　対光反射(右　　左　　)　片麻痺(　☐無　／　☐有)

「切迫 するD」　☐無　／　有（☐GCS 8点以下、☐観察中にGCSで2点以上の低下、☐瞳孔不同、

☐片麻痺、☐クッシング徴候）

➔ 異常なければ下記E項へ、異常あれば次ページのD項へ

E　保温と脱衣　　体温　　℃

保温に努め、全身観察　外傷（身体所見）の評価

Cr 圧挫症候群　☐無　／　有（☐四肢の狭圧、☐麻痺、☐感覚障害、☐ポートワイン尿、☐高カリウム血症、

☐心電図異常　）

特記事項等（自由記載）

確認時刻　　月　　日　　時　　分

メディカルID＝西暦生年月日8桁＋性別＋氏名カタカナ上位7桁　例）1950年09月08日生まれ　男性　トヨトミヒデヨシ⇒　19500908Mトヨトミヒデヨ

メディカルID									M/F							

災害診療記録2018 外傷版（緊急処置と外傷評価）（裏）

□項目は、☑および必要記入項目です。　　改訂日：2018/10/31

A　気道の異常
- □口腔内吸引　□エアウェイ
- □気管挿管　（挿管チューブ　内径　　mm　　cm固定　カフ　　ml）
- □輪状甲状靭帯切開　（気切チューブ　内径　　mm　カフ　　ml）

B・Cの異常
- □酸素投与（　L/分）
- □胸腔ドレナージ(□右　□左　□両側　サイズ　　Fr　吸引圧　　cmH2O）
- □気管挿管（挿管チューブ　内径　　mm　　cm固定　カフ　　ml）
- □人工呼吸（F_IO2　　TV　　ml　換気回数　　回/分　PEEP　　cmH2O）

Cの異常
- □圧迫止血　□細胞外液輸液　□心電図モニター
- □心嚢穿刺・切開ドレナージ　□胸部X線撮影　□骨盤X線撮影
- □骨盤シーツラッピング　□TAE　□外科的治療　□四肢の循環障害

Dの異常
- □酸素投与（　L/分）
- □気管挿管（挿管チューブ　内径　　mm　　cm固定　カフ　　ml）
- □頭部CT検査

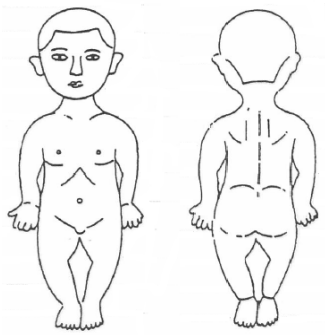
その他の処置
- □末梢ルート①（　　G　□右　□左　□上肢　□下肢）　②（　　G　□右　□左　□上肢　□下肢）
- □NG チューブ（　　Fr　　cm固定）　□尿道バルーンカテーテル　　Fr
- □動脈ライン（□右　□左　□上肢　□下肢）　□末梢血検査　□血液ガス分析
- □創傷処置（　　）
- □投与薬物（　　）

受傷機転

傷病分類　□頭頸部（□頭部外傷　□頸部外傷　□頸椎・頚髄損傷）
- □顔面（□骨折 □眼損傷　□耳損傷 □鼻出血 □口腔損傷）
- □胸部（□フレイルチェスト　□肋骨骨折（ □多発 ）　□血胸　□気胸）
- □腹部（□腹腔内出血　□腹膜炎（□腹部反跳痛　□筋性防御）　□腎・尿路損傷（□肉眼的血尿）　）
- □四肢と骨盤（□両側大腿骨骨折　□開放性骨折　□脱臼　□切断　□骨盤骨折（□不安定型））
- □体表（□剝皮創　□穿通創　□挫創　□熱傷（□Ⅱ度　□Ⅲ度　面積　　%　□気道熱傷有）
- □圧挫症候群　□胸・腰椎(髄)損傷　□低体温　□汚染（□化学物質　□放射線）
- □その他の傷病名（身体所見）（　　）

必要な治療・処置
- □外科的治療（□緊急手術を要す、□待機的手術を要す）　□輸血　□動脈塞栓術（TAE）
- □創外固定　□直達牽引　□創傷処置　□除染（□化学物質　□放射性物質）
- □破傷風トキソイド　□抗破傷風免疫グロブリン
- □その他（　　）

診断、特記事項等（自由記載）



メディカルID＝西暦生年月日8桁＋性別＋氏名カタカナ上位7桁　例）1950年09月08日生まれ　男性　トヨトミヒデヨシ⇒　19500908Mトヨトミヒデヨ

メディカルID									M/F							